

**委託事業実施内容報告書**  
**平成27年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業**  
**【地域日本語教育実践プログラム(A)】**  
**実施内容報告書**

受託団体名 特定非営利活動法人日本ペルー共生協会

**1. 事業名称**

AJAPEスペイン語圏出身者対象日本語教育

**2. 事業の目的**

外国に籍を置く労働者並びにその家族の来日が増えてきている。彼らが日本国内に居住し、様々な情報を得ながら生活をして行くための日本語能力が不足していることが顕在化してきている。当協会では「それぞれの家庭において健全に子育てしながら税金を払うことができる人たちに育ってくれる」ことを目標に支援活動をしてきている。そのために、働く保護者、学んでいる若者、育っていく子どもたちの日本語能力を更に向上させて、日本人と平穩に共存することがようにする。

**3. 事業内容の概要**

日本語教室では習熟度に応じて上、中、初級に分けて指導し、進捗度によって進級することができるようにする。又、日本語を継続的に学習することを念頭に置いて、地域のティピカルな情報を取り扱ったり、子どもの進学問題について保護者が子どもの相談に応えることができるように指導し、その場で日本語を理解し発信することができるようにする。そして、日本語教師養成講座ではスペイン語を使用しながら日本語を学習できるようにするための教師を養成する。彼等の歴史的背景や制度の違いを理解したうえで、スペイン語でスペイン語圏の人たちに日本のいろいろな仕組みや日常のなりわいを教えていく。

**4. 事業の実施体制について**

総会—理事会—事業部会の会議体による内部統制のもと、運営委員会による立案(Plan)、事業部門による実施(Do)、運営委員会による検証(Check)のサイクルを回しながら、関係機関・団体(国際化協会、エスニックコミュニティー、大学、教育委員会等)と連携をとって進める。

**chekku**

**【運営委員】**

1	矢沢 悦子	東京学芸大学
2		
3	高野菜穂子	日本ペルー共生協会
4		
5	荒明美奈子	町田市国際交流センター
6		
7	角替 弘規	桐蔭横浜大学
8		
9	高橋 悦子	日本ペルー共生協会
10		
11	平田スサナ	太田市教育委員会
12		

**【概要】**

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題及び検討内容
1	平成27年4月29日 (水) 10:00~12:00	2時間	町田市民 フォーラム	矢沢、高野、荒 明、角替、高橋、 平田	1. 文化庁委託内容の確認 2. 実施責任者とスケジュールの検討
2	平成27年10月1 日(木) 16:00~18:0 0	2時間	町田市民 フォーラム	矢沢、高野、荒 明、角替、高橋、	1. 事業進捗状況の点検 2. 問題点の検討
3					

6. 日本語教育の実施

(1) 活動名称

AJAPE町田日本語教室

(2) 目的・目標

ペルー及びラテンアメリカ出身者の内、上級・中級日本語話者による地域スペイン語圏コミュニティへの貢献を通し

(3) 対象者

ペルー及びラテンアメリカ出身者

(4) 使用した教材・リソース

・教師が前もって準備した教材のコピー

(5) 参加者の総数

30人

そのうちの日本語学習者数 30人

【出身・国籍別内訳】

中国	人	インドネシア	人	※他の国籍の場合は以下に国籍と人数を記載してください。
韓国	人	タイ	人	・コロンビア 3人
ブラジル	1人	ペルー	21人	・メキシコ 1人
ベトナム	人	フィリピン	人	・ボリビア 2人
ネパール	人	日本	人	・アメリカ 1人

(6) 開催時間数(回数) 141.5 時間

(全 23 回 内オリエンテーション 1 回)

(7) 日本語教育の実施内容

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成27年 6月27日(土) 18:00~20:30	2.5	町田市民フォーラム	30人	オリエンテーション	プレズメントテスト:筆記試験、口頭テスト(1人ずつ)を実施。各自に自己の実力を認識してもらうと共に乗。中・初級のクラス分けの判断材料とする。ポर्टフォリオとその内容物について説明	矢沢悦子 伯田みどり 大場尚子	小林キミ
2 (上)	平成27年 7月11日(土) 18:00~20:30	2.5	町田市民フォーラム	5人	「VII」人と関わる 「14」他者との関係を円滑にする (31)人と付き合う	自己紹介のし方を理解する 相手や状況に応じた自己紹介のし方を理解する 口頭で敬体を使って自己紹介をする	上級: 矢沢悦子	
2 (中)	平成27年 7月11日(土) 18:00~20:30	2.5	町田市民フォーラム	5人	「VII」人と関わる 「14」他者との関係を円滑にする (31)人と付き合う	自己紹介について考える(場面、相手、内容等) 自己紹介の時に使う言葉・挨拶、使ってはいけない言葉 実際に自己紹介し、だれのが印象に残ったかを発表 いろいろな名刺の紹介(オフィシャル・プライベート) 名刺を作り全員でロールプレイ	中級: 大場尚子	
2 (初)	平成27年 7月11日(土) 18:00~20:30	2.5	町田市民フォーラム	4人	「VII」人と関わる 「14」他者との関係を円滑にする (31)人と付き合う	自己紹介のし方を理解する 相手や状況に応じた自己紹介のし方を理解する 口頭で自己紹介をする	初級: 伯田みどり	小林キミ (上・中・初級掛け持ち)
3 (上)	平成27年 7月18日(土) 18:00~20:30	2.5	町田足民フォーラム	6人	「VII」人と関わる 「14」他者との関係を円滑にする	自己紹介文を書く 常体と敬体を使い分ける	上級: 矢沢悦子	
3 (中)	平成27年 7月18日(土) 18:00~20:30	2.5	町田足民フォーラム	2人	「VII」人と関わる 「14」他者との関係を円滑にする (31)人と付き合う	・自己紹介の例文を読む ・何を紹介しているかをワークシートにまとめる ・丁寧体で自己紹介文を書く ・(応用)履歴書の自己PRを考えて	中級: 大場尚子	
3 (初)	平成27年 7月18日(土) 18:00~20:30	2.5	町田足民フォーラム	2人	「VII」人と関わる 「14」他者との関係を円滑にする	自己紹介文を書く 常体と敬体を使い分ける ネームカードの作成	初級: 伯田みどり	小林キミ (上・中・初級掛け持ち)
4 (上)	平成27年 7月25日(土) 18:00~20:30	2.5	町田市民フォーラム	5人	「VII」人と関わる 「14」他者との関係を円滑にする (31)人と付き合う	他己紹介をする インタビューですること・してはいけないことを話し合い発表する インタビューをし、それに基づいて他己紹介を行う	上級: 矢沢悦子	
4 (中)	平成27年 7月25日(土) 18:00~20:30	2.5	町田市民フォーラム	4人	「VII」人と関わる 「14」他者との関係を円滑にする (31)人と付き合う	・他己紹介に必要な事項を考える ・他己紹介例文(モデル文)を読む ・ペアを組んでその人について知っていることをまとめる ・ペアの人について更に知りたいことをインタビューする ・ペアの人の紹介文を書き、発表する(敬体で) ・色々な他己紹介文を読む ・自己評価(31)8~11	中級: 大場尚子	
4 (初)	平成27年 7月25日(土) 18:00~20:30	2.5	町田市民フォーラム	5人	「VII」人と関わる 「14」他者との関係を円滑にする	他己紹介をする 他の学習者を紹介し合う 家族を紹介する	初級: 伯田みどり	小林キミ (上・中・初級掛け持ち)

5 (上)	平成27年 8月 1日 (土) 18:00~20:30	2.5	町田市民 フォーラム	5人	「IX」自身を豊かにする 「20」余暇を楽しむ (44)余暇を楽しむ	地域の公共施設(町田市民フォーラム「展示・情報コーナー」)を調べる ①事前の下調べ ②「展示・情報コーナー」での調査(室内・書架の調査、職員へのインタビュー等) ③調べたことの発表・全体での振り返り	上級:矢沢悦子	
5 (中)	平成27年 8月 1日 (土) 18:00~20:30	2.5	町田市民 フォーラム	3人	「VII」人と関わる 「14」他者との関係を円滑にする (31)人と付き合う	・友達になりたい人に話しかける場面を考える ・「コミュニケーションの場面」のイラストを見て意見を言う ・どんな場面で・最初の声掛け・何を話す? ・話の終わりに(それぞれ態度や気をつけることは?)→フローチャートに記入 ・知らない人に話しかけられる場面を考える ・どんな場面・何と答えるか(答えなにか)・何を話す? ・話の終わりに(それぞれ態度や気をつけることは?)→フローチャートにまとめる・まとめの発表	中級:大場尚子	
5 (初)	平成27年 8月 1日 (土) 18:00~20:30	2.5	町田市民 フォーラム	5人	「VII」人と関わる 「14」他者との関係を円滑にする	人間関係のきっかけを作る挨拶をする	初級:伯田みどり	小林キミ (上・中・初級掛け持)
6 (上)	平成27年 8月 8日 (土) 18:00~20:30	2.5	町田市民 フォーラム	4人	「IX」自身を豊かにする 「20」余暇を楽しむ (44)余暇を楽しむ	地域の公共団体について知る ①ネット上の紹介記事を読む a.「町田市男女平等推進センター」b.「町田市消費生活センター」 ②男女平等、消費生活について話合う	上級:矢沢悦子	
6 (中)	平成27年 8月 8日 (土) 18:00~20:30	2.5	町田市民 フォーラム	2人	「VII」人と関わる 「14」他者との関係を円滑にする (31)人と付き合う	・家庭内の日常的あいさつ(母語)を考える→日本語ではどうか、考える ・家庭内の慣習的なあいさつ(母語)→日本ではどうか、考える(知っているあいさつは?) ・家庭内で個人的に使うあいさつは?(母語)→日本ではどうか? ・家庭外で人と出会ったときのあいさつを考える ・家庭外で知らない人にあいさつをするか?YES(どんなあいさつ? NO(どうしてしないのか)→意見を言う ・知っている人へのあいさつ(どこで、どんなとき、何と言う?) ・上記をワークシートにまとめる→母国と日本のあいさつの違いを作文にする	中級:大場尚子	
6 (初)	平成27年 8月 1日 (土) 18:00~20:30	2.5	町田市民 フォーラム	4人	「VII」人と関わる 「14」他者との関係を円滑にする (31)人と付き合う	自己紹介について理解する 相手の状況に応じた自己紹介の仕方を理解する 口頭で自己紹介をする	初級:伯田みどり	小林キミ (上・中・初級掛け持ち)
7 (上)	平成27年 8月 29日 (土) 18:00~20:30	2.5	町田市民 フォーラム	4人	「IX」自身を豊かにする 「20」余暇を楽しむ (44)余暇を楽しむ	地域の公共施設(町田市生涯学習センター)を調べる ①調査内容の確認 ②センターへ行き、内部を見学後、各自調査を始める ③調べたことの発表・全体での振り返り	上級:矢沢悦子	
7 (中)	平成27年 8月 29日 (土) 18:00~20:30	2.5	町田市民 フォーラム	2人	「VII」人と関わる 「14」他者との関係を円滑にする (31)人と付き合う	・お礼を言う場面を考える(絵を見て、どんな場面か・何といえいいかを考える) ・家庭内で使うお礼のことば(母語)を考える→日本語ではどうか、考える→ワークシートにまとめる ・家庭外で使うお礼のことば(母語)を考える→日本語ではどうか、考える→ワークシートにまとめる ・お礼のはがき/メールの書き方を学ぶ(例文を読む・どんな時に書くか・どんな構成で書けばよいか・ことば遣いはどうするか→例文の読解・Q&A) ・お礼のはがきを実際に書いてみる ・お礼のはがき/メールを出した後の対応(次に出会ったときに改めてお礼を言う→母国と日本の文化の違いを確認)	中級:大場尚子	

7 (初)	平成27年 8月29日(土) 18:00~20:30	2.5	町田足民フォーラム	2人	「Ⅶ」人と関わる 「14」他者との関係を円滑にする	自己紹介文を書く モデル自己紹介文を活用して書く ネームカード作成	初級: 伯田みどり	小林キミ (上・中・初級掛け持ち)
8 (上)	平成27年 9月 5日(土) 18:00~20:30	2.5	町田足民フォーラム	3人	「Ⅶ」人と関わる 「14」他者との関係を円滑にする (31)人と付き合う	人間関係のきっかけを作る挨拶をする 「挨拶とは？」話し合→発表→振り返り ②挨拶のし方で困ったことは？…話し合 ③どう挨拶するか[葬式、引越、結婚、年末年始]@母国、日本 話し合→日本語での挨拶(確認、練習)	上級: 矢沢悦子	
8 (中)	平成27年 9月 5日(土) 18:00~20:30	2.5	町田市民フォーラム	2人	「Ⅹ」自身を豊かにする 「20」余暇を楽しむ (44)余暇を楽しむ	{地域の施設を調べる(1)} ・町田市民フォーラムのHPを見る ・所在地、開館時間、休館日の確認(語彙の説明)→HPから読み取る ・市民フォーラムの説明を読む(語彙説明)→どんな役割があり、どんな施設か理解する ・館内案内図を見て、「展示・情報コーナー」を探す→目的の場所をどこから探すことができる ・「展示・情報コーナー」について調べる→利用時間、本を借りられるか?、借りるために必要な物、読みたい書籍があるか?、図書館との相違→実際に行って調べる(掲示物を見る、受付に質問する) ・調べたことを発表する(発表の仕方の確認)	中級: 大場尚子	
8 (初)	平成27年 9月 5日(土) 18:00~20:30	2.5	町田市民フォーラム	2人	「Ⅶ」人と関わる 「14」他者との関係を円滑にする (31)人と付き合う	お詫びの言葉を学んで実行する 5つの場面の例文を読み、内容を確認、ロールプレイ 「すみません・ごめんなさい」の使い方 いろいろな意味を持つ「すみません」を場面を通して理解する	初級: 伯田みどり	小林キミ (上・中・初級掛け持ち)
9 (上)	平成27年 9月12日(土) 18:00~20:30	2.5	町田市民フォーラム	4人	「Ⅶ」人と関わる 「14」他者との関係を円滑にする (31)人と付き合う	あいさつの文化的相違を理解する ①日本語と母語での挨拶の相違・体験を話し合 ②「食事の後に挨拶しますか」(文章、A4で2枚半): 聞き取→読取→QA、話し合	上級: 矢沢悦子	
9 (中)	平成27年 9月12日(土) 18:00~20:30	2.5	町田市民フォーラム	2人	「Ⅹ」自身を豊かにする 「20」余暇を楽しむ (44)余暇を楽しむ	地域の施設を調べる(2) ・町田市生涯学習センターのHPを見る ・「町田市生涯学習センターのご案内」を読む→語彙の説明→どんな施設か大まかにつかむ ・所在地、開館時間、休館日の確認→案内文から読み取る ・「館内図」を見る→どんな部屋があるかを知る(語彙説明) ・次回、生涯学習センターへ行って調べることを確認する(役割分担) ・各自で質問したいことを考える→質問事項を記入	中級: 大場尚子	
9 (初)	平成27年 9月12日(土) 18:00~20:30	2.5	町田市民フォーラム	2人	「Ⅹ」自身を豊かにする 「20」余暇を楽しむ (44)余暇を楽しむ	余暇の過ごし方についての会話練習 場所・行動についての語彙を増やす 自身の過ごし方を発表する ネット資料(世の中の余暇の過ごし方アンケート結果)についてどのように感じたかを発表する	初級: 伯田みどり	小林キミ (上・中・初級掛け持ち)
10 (上)	平成27年 9月19日(土) 18:00~20:30	2.5	町田市民フォーラム	3人	「Ⅶ」人と関わる 「14」他者との関係を円滑にする (31)人と付き合う	お礼のこトバを学んで実行する ①「こんな場合、お礼を言うか言わないか、言うとしたら何と言うか」各自振り返り→発表→全体での話し合 ②お礼の表現: 各自書く→チェック→話し合	上級: 矢沢悦子	

10 (中)	平成27年 9月19日(土) 18:00~20:30	2.5	町田市民 フォーラム	3人	「IX」自身を豊かにする 「20」余暇を楽しむ (44)余暇を楽しむ	地域の施設を調べる(2): 教室外活動を取り入れる ・前回導入した「生涯学習センターについて調べること」の再確認 ・「生涯学習センター」へ赴き、各自が調査 ・「生涯学習センター」の人へ、実際に質問してみる→知りたい情報が得られなかった時の対応の仕方も学習する ・調べたこと、得られた情報・資料についてまとめる→発表する ・(補)「生涯学習センター」を利用していった人たちへインタビューしてみる→コミュニケーションがはかれるかどうか	中級: 大場尚子	
10 (初)	平成27年 9月19日(土) 18:00~20:30	2.5	町田市民 フォーラム	2人	「IX」自身を豊かにする 「20」余暇を楽しむ (44)余暇を楽しむ	イベントに参加する イベントの内容、申し込み、交通手段等を理解する(一例としてビール工場見学を挙げる) まとめ質問10個に口頭で答えるその後、文章にして答えを書くことで内容理解を深める	初級: 伯田みどり	小林キミ (上・中・初級掛け持ち)
11 (上)	平成27年10月 3日(土) 18:00~20:30	2.5	町田市民 フォーラム	5人	「VII」人と関わる 「14」他者との関係を円滑にする (31)人と付き合う	お詫びのことはを学んで実行する ①「こんな場合、お詫びを言うか言わないか、言うとしたら何と言うか」各自振り返り→発表→全体での話合 ②お詫び表現の言い間違いに気づく ③謝罪文を書く(メール)	上級: 矢沢悦子	
11 (中)	平成27年10月 3日(土) 18:00~20:30	2.5	町田市民 フォーラム	2人	「VII」人と関わる 「14」他者との関係を円滑にする (31)人と付き合う	(お詫びのことはを学んで実行する) ・家の中で使うお詫びのことはを考える。(どんなとき、どのように使うか→ワークシートに記入) ・家の外で使うお詫びのことはを考える。(同上) ・お詫びの手紙/はがき/メールを書く時の注意点について(読解問題) ・お詫びの表現を学ぶ(敬体~普通体の使い分け) ・お詫びのメールの例文1(約束を忘れた時)を読む。 ・お詫びのメールの例文2(借りたものをなくした時)を読む。→普通体を敬体に直す。(ワークシートに記入)	中級: 大場尚子	
11 (初)	平成27年10月 3日(土) 18:00~20:30	2.5	町田市民 フォーラム	3人	「IX」自身を豊かにする 「20」余暇を楽しむ (44)余暇を楽しむ	地域の施設を調べる(1) 町田市民フォーラム・国際交流センターについてプリントを使って調べる内容の読み取り、次回の実践編に向けて質問事項をまとめる	初級: 伯田みどり	小林キミ (上・中・初級掛け持ち)
12 (上)	平成27年10月10日(土) 18:00~20:30	2.5	町田市民 フォーラム	6人	「IX」自身を豊かにする 「20」余暇を楽しむ (44)余暇を楽しむ	余暇を過ごす場所や利用方法を知る ①休みの日に何をしたいか、どこへ行きたいか、情報をどうやって得るか: 全体での話合→口頭QA→記述②「広報まちだ」を読む→余暇の情報	上級: 矢沢悦子	
12 (中)	平成27年10月10日(土) 18:00~20:30	2.5	町田市民 フォーラム	3人	「IX」自身を豊かにする 「20」余暇を楽しむ (44)余暇を楽しむ	(場所や利用方法を知る) ・日本地図、絵入りワークシートを見ながら、休みにどんな所へ行ったことがあるか話し合う。 ・どこが良かったか、行ってみたいところ、してみたいことをまとめる(ワークシートに記入)。→発表。 ・町田市広報(10月1日版)の記事2件(「町田オクトーバーフェスト」「町田ダリア園」)を読む。(情報の項目を読み取る→読解問題として質問に答える)	中級: 大場尚子	
12 (初)	平成27年10月10日(土) 18:00~20:30	2.5	町田市民 フォーラム	3人	「IX」自身を豊かにする 「20」余暇を楽しむ (44)余暇を楽しむ	地域の施設を調べる(2) 国際交流センター事務所に出向き、一人ずつ聞きたいこと、わからないことを質問した 次回の事前勉強のために、町田観光ギャラリーについての資料の読み取りと質問を考えた	初級: 伯田みどり	小林キミ (上・中・初級掛け持ち)

13 (上)	平成27年10月17日(土) 18:00~20:30	2.5	町田市民 フォーラム	7人	「Ⅹ」自身を豊かにする 「20」余暇を楽しむ (44)余暇を楽しむ	地域のイベントに参加する ①まとまり・流れのある発表にするには ②「広報さがみはら」のイベント紹介欄で参加したいものを選ぶ ③発表準備(原稿下書き) ④参加したいイベントについて、原稿を見ず皆の前で発表する(一人ずつ)	上級: 矢沢悦子	
13 (中)	平成27年10月17日(土) 18:00~20:30	2.5	町田市民 フォーラム	3人	「Ⅹ」自身を豊かにする 「20」余暇を楽しむ (44)余暇を楽しむ	(地域のイベントに参加する) ・町田市広報(10月1日版)を見て、条件に合った記事を探す(①平日の午後6時以降、土日祝は一日中。②出費は一人1000円まで。③子どもを連れていける。)→ワークシートに記入。 ・自分の参加したいイベントについてワークシートにまとめる(①イベント名②広報の何ページ、何段目の記事か③選んだ理由④参加して予想されること⑤参加するのに迷った別のイベントと迷った理由) ・参加したいイベントの発表(上記のワークシートをもとにして) ・イベントの計画を立ててみる(①何にするか②内容③日時の設定④集合場所⑤連絡先⑥費用について)→イベントのチラシを書く。 ・上記イベント企画を、他のクラスで発表。→実際に参加者を募る。	中級: 大場尚子	
13 (初)	平成27年10月17日(土) 18:00~20:30	2.5	町田市民 フォーラム	3人	「Ⅹ」自身を豊かにする 「20」余暇を楽しむ (44)余暇を楽しむ	地域の施設を調べる(3) 町田市観光ギャラリーに出向き、めいめい町田の名産品や有名店のある場所、名店街のいいお店の情報質問した 教室に戻り、各人が調べた内容について発表した	初級: 伯田みどり	小林キミ (上・中・初級掛け持ち)
14 (上)	平成27年11月7日(土) 18:00~20:30	2.5	町田市民 フォーラム	6人	「Ⅶ」人と関わる 「14」他者との関係を円滑にする (31)人と付き合う	時宜に合った挨拶を学んで実行する ①年賀状のいろいろ: 賀状、年賀欠礼状 ②年賀用語、葉書の書き方を知る③賀状を書く④天声人語「手書きで年賀状を」を読む	上級: 矢沢悦子	
14 (中)	平成27年11月7日(土) 18:00~20:30	2.5	町田市民 フォーラム	2人	「Ⅶ」人と関わる 「14」他者との関係を円滑にする (31)人と付き合う	(時宜に合った挨拶を学んで実行する) ・季節のあいさつ(新年のあいさつ)について学ぶ。一年賀状は誰に出すか、年賀状で何を伝えるか、いつまでに出すか等。 ・寒中見舞いとは何か、どんな時にだすか、何を書くか等。 ・上記2点についての読解問題。 ・新年のあいさつのことばを学ぶ(あげましておめでとう、謹賀新年、等) ・新年のあいさつ文を学ぶ(今年もよろしく願います、等)→だれに、どんなあいさつ文を書くか、ワークシートに記入) ・干支(十二支)の話(聴解)→自分たちの国にも同じような話があるか、話し合う。 ・干支(十二支)の紹介→自分や、家族の干支は何かを知る。 ・年賀状の書き方を学ぶ→ワークシートに書いてみる。	中級: 大場尚子	
14 (初)	平成27年11月7日(土) 18:00~20:30	2.5	町田市民 フォーラム	2人	「Ⅶ」人と関わる 「14」他者との関係を円滑にする (31)人と付き合う	時宜にあった挨拶を学んで実行する ①年賀状を出す習慣及び書き方について学ぶ ②定番のあいさつ文を学び、なぞり書き練習をする ③実際の年賀状フォームに各自お手本道理の年賀状を作成する ④十二支について学び理解する	初級: 伯田みどり	小林キミ (上・中・初級掛け持ち)

15 (上)	平成27年11月14日(土) 18:00~20:30	2.5	町田市民 フォーラム	8人	「Ⅶ」人と関わる 「14」他者との関係を円滑にする (31)人と付き合う「Ⅹ」余暇を楽しむ 「20」余暇を楽しむ (44)余暇を楽しむ	まとめ ①最終テスト:初回のプレズメントテストと同じストーリー作成問題…講評実施 ②アンケート(文化庁・AJAPE)実施 ③ポートフォリオ記入→提出全教室での茶話会・反省会	上級:矢沢悦子	
15 (中)	平成27年11月14日(土) 18:00~20:30	2.5	町田市民 フォーラム	3人	「Ⅶ」人と関わる 「14」他者との関係を円滑にする (31)人と付き合う「Ⅹ」余暇を楽しむ 「20」余暇を楽しむ (44)余暇を楽しむ	まとめ 自己フィードバック ・復習テスト(プレズメントテストを再度やってみる→どのくらいできるようになったかを確認→解説) ・アンケートに答える(文化庁とAJAPEの2点) ・修了式(終了証授与と各人のあいさつ) ・終了パーティー	中級:大場尚子	
15 (初)	平成27年11月14日(土) 18:00~20:30	2.5	町田市民 フォーラム	3人	「Ⅶ」人と関わる 「14」他者との関係を円滑にする (31)人と付き合う「Ⅹ」余暇を楽しむ 「20」余暇を楽しむ (44)余暇を楽しむ	まとめ ①最終テスト:初回のプレズメントテストと同じストーリー作成問題…講評実施 ②アンケート(文化庁・AJAPE)実施 ③ポートフォリオ記入→提出全教室での茶話会・反省会	初級:伯田みどり	小林キミ (上・中・初級掛け持ち)
16 (上)	平成27年12月5日(土) 18:00~20:30	2.5	町田市民 フォーラム	8人	文法の総復習 Ⅶ 14 他者との関係を円滑にする	文法の総復習: いろいろな働きをする助詞 初級の助詞の整理 プリント1-1, 1-2	上級:矢沢悦子	小林キミ
17 (上)	平成27年12月19日(土) 18:00~20:30	2.5	町田市民 フォーラム	8人	文法の総復習 Ⅶ 14 他者との関係を円滑にする	いろいろな働きをする助詞 話す練習:単語の説明 プリント1-3	上級:矢沢悦子	
17 (初)	平成27年12月19日(土) 18:30~20:30	2	町田市民 フォーラム	3人	文法の総復習 Ⅶ 14 他者との関係を円滑にする	・他者との関係を円滑にする ・新しい学習者と自己紹介をする ・毎日の生活について語る 漢字導入	初級:伯田みどり	小林キミ (上・初級掛け持ち)
18 (上)	平成28年1月9日(土) 18:00~20:30	2.5	町田市民 フォーラム	8人	文法の総復習 Ⅶ 14 他者との関係を円滑にする	スピーチ…新年に関して 読解:マイナンバー制度はじまる 復習テスト、漢字	上級:矢沢悦子	
18 (初)	平成28年1月9日(土) 18:30~20:30	2	町田市民 フォーラム	3人	文法の総復習 Ⅶ 14 他者との関係を円滑にする	・自分や他の人について説明する ・て形の構文の学習 漢字	初級:伯田みどり	小林キミ (上・初級掛け持ち)
19 (上)	平成28年1月30日(土) 18:00~20:30	2.5	町田市民 フォーラム	7人	文法の総復習 Ⅶ 14 他者との関係を円滑にする	話題の取り立て 宿題の復習テスト、解説、例文紹介 プリント2-1	上級:矢沢悦子	
19 (初)	平成28年1月30日(土) 18:30~20:30	2	町田市民 フォーラム	3人	文法の総復習 Ⅶ 14 他者との関係を円滑にする	・人の状況を説明する ・イ形容詞とナ形容詞の分類 ・形容詞のて形の練習	初級:伯田みどり	小林キミ (上・初級掛け持ち)
20 (上)	平成28年2月6日(土) 18:00~20:30	2.5	町田市民 フォーラム	8人	文法の総復習 Ⅶ 14 他者との関係を円滑にする	話題の取り立て 宿題:文章作成 1)~4)の解説、例文紹介 プリント2-2, 2-3	上級:矢沢悦子	
20 (初)	平成28年2月6日(土) 18:30~20:30	2	町田市民 フォーラム	3人	文法の総復習 Ⅰ 健康安全に暮らす	・健康を保つ ・体調、症状を人に伝える学習 ・医療機関、診察室での応答練習	初級:伯田みどり	小林キミ (上・初級掛け持ち)
21 (上)	平成28年2月20日(土) 18:00~20:30	2.5	町田市民 フォーラム	6人	文法の総復習 Ⅶ 14 他者との関係を円滑にする	話題の取り立て 話しあい:公私の区別について プリント2-2, 2-3	上級:矢沢悦子	
21 (初)	平成28年2月20日(土) 18:30~20:30	2	町田市民 フォーラム	2人	文法の総復習 Ⅰ 健康安全に暮らす	・薬を利用する ・診察室での応答(前回の続き) ・薬の飲み方、効能、用法上の注意についての表現	初級:伯田みどり	小林キミ (上・初級掛け持ち)
22 (上)	平成28年3月5日(土) 18:00~20:30	2.5	町田市民 フォーラム	8人	文法の総復習 Ⅶ 14 他者との関係を円滑にする	話題の取り立て:	上級:矢沢悦子	
22 (初)	平成28年3月5日(土) 18:30~20:30	2	町田市民 フォーラム	2人	V消費活動を行う	・物品購入、サービスを利用する ・店舗を探す、新聞広告、折込広告を理解する	初級:伯田みどり	小林キミ (上・初級掛け持ち)
23 (上)	平成28年3月19日(土) 18:00~20:30	2.5	町田市民 フォーラム	8人	文法の総復習 Ⅶ 14 他者との関係を円滑にする	驚いたこと: 話す(スピーチ)、尋ねる、書く 復習の授業の全漢字意味、読み、書き取りのテスト	上級:矢沢悦子	
23 (初)	平成28年3月19日(土) 18:30~20:30	2	町田市民 フォーラム	2人	文法の総復習 Ⅶ 14 他者との関係を円滑にする	・人と付き合う ・すみませんの場面による意味の違いを理解する ・人に笹われた時の応答練習(特に断る場合) ・総復習テスト	初級:伯田みどり	小林キミ (上・初級掛け持ち)

(8) 特徴的な活動風景(2~3回分)

【第5回 2015年8月1日】日本語教室で使用している地域の公共施設(町田市民フォーラム「展示・情報コーナー」)を調べる  
①事前の下調べ⇒各自が事前に調べる。 ②その後2人一組になり「展示・情報コーナー」での調査(室内の様子・書架にある本の種類の調査、そこで働いている職員へのインタビュー等(施設の方へは前もって依頼、説明しておく) ③調べたことの発表・全体での振り返り



取組事例②

【第14回 2015年11月7日】新年に向け暮に出す年賀状の書き方のマナーの学習。時宜に合った挨拶を学んで実行する  
①年賀状のいろいろ: 賀状、年賀欠礼状 (どのようなタイミングでどのように出すのか) ②年賀用語、葉書の書き方を知る ③賀状を書く 実際に自分でハガキを書く練習。前もって年賀はがきを用意して自分で日本語で書く練習。 ④天声人語「手書きで年賀状を」を読む



(9) 目標の達成状況・成果

コースのお知らせをFACEBOOKやLINEでお知らせを行った。其のためか以前には全く参加してこともないような人たちの参加が1回目はあった。しかし例年のごとく初級グループの定着率が非常に悪かった。しかし上級は回を重ねるごとに口コミで人数も増加しあまり休まず熱心に学習する人が多かった。教師の指導力の影響もあるだろうが上級者への専門家での安価で気軽に学習できるニーズが多いということを改めて感じた。当団体がスペイン語ですべて対応するというのも参加者の動機付の一つである。アンケート、質問等すべて学習者の母語であるスペイン語で行い好評であった。又さまざまな質問が寄せられた。アンケートは別途添付。

(10) 今後の改善点について

初心者の定着をいかに付けるかということが頭の痛いところである。初回は参加するもその後で挫折し、いつまでたっても平仮名、片仮名の部分を繰り返しているグループがいる。これなくなった理由を聞こうにも連絡が取れないことも多々あり意見の吸い上げも難しい。今後は母語のスペイン語を使用できることを武器に連絡を密にとることが課題である。又、専門家による学習はいつも定着して参加する人がいるので継続して行く必要があるが単年度ごとの取組なので困難な点もある。

6. 日本語教育の実施

(1) 活動名称

AJAPE群馬日本語教室

(2) 目的・目標

地域で暮らすスペイン語圏出身者の日本語のスキル・アップを図ることにより、彼らの生活を質的に向上させることが

(3) 対象者

スペイン語圏出身者

(4) 使用した教材・リソース

講師が作成したもの

(5) 参加者の総数 62 人

そのうちの日本語学習者数 62 人

【出身・国籍別内訳】

中国	人	インドネシア	人	※他の国籍の場合は以下に国籍と人数を記載してください。
韓国	人	タイ	人	・アルゼンチン 2名
ブラジル	5人	ペルー	55人	・
ベトナム	人	フィリピン	人	・
ネパール	人	日本	人	

(6) 開催時間数(回数) 120 時間 (全 20 回 内オリエンテーション1回)

(7) 日本語教育の実施内容

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1 (上)	平成27年 9月 5日 (土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	4人	オリエンテーション	☆あいさつをする 初対面のあいさつ方法を教える クラス分け	(上級)彌城 節子	
1 (中)	平成27年 9月 5日 (土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	9人	オリエンテーション	☆あいさつをする 初対面のあいさつ方法を教える クラス分け	(中級)大崎 晋	
1 (初)	平成27年 9月 5日 (土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	27人	オリエンテーション	☆あいさつをする 初対面のあいさつ方法を教える クラス分け	(初級)高橋裕 輔	講義通訳 平田スサナ
2 (上)	平成27年 9月 12 日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	8人	Ⅶ 人とかかわる 14 他者との関係を円滑 にする	☆自己紹介をする 名前札を作成し、あいさつや簡単な 自己紹介の方法を教え、実践する	(上級)彌城 節子	
2 (中)	平成27年 9月 12 日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	16人	Ⅶ 人とかかわる 14 他者との関係を円滑 にする 31 人と付き合う	☆人間関係のきっかけを作る挨拶を する 印象的な自己紹介 献上語の学習	(中級)大崎 晋	
2 (初)	平成27年 9月 12 日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	32人	Ⅶ 人とかかわる 14 他者との関係を円滑 にする 31 人と付き合う	☆人間関係のきっかけを作る挨拶を する 自己紹介 平仮名の学習	(初級)高橋裕 輔	講義通訳 平田スサナ
3 (上)	平成27年 9月 19 日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	5人	Ⅶ 人とかかわる 14 他者との関係を円滑 にする	☆自己紹介をする 好きなもの・好きなこと 書き言葉と話し言葉の違い	(上級)彌城 節子	
3 (中)	平成27年 9月 19 日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	17人	Ⅶ 人とかかわる 14 他者との関係を円滑 にする	☆ 仕事上の公的な自己紹介をする 職場 の人と良い関係を築く敬語、親族	(中級)大崎 晋	
3 (初)	平成27年 9月 19 日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	23人	Ⅶ 人とかかわる 14 他者との関係を円滑 にする 31 人と付き合う	☆わからない時、疑問に思った時信 頼できる相手に質問をする 「これ、それ、あれ」の学習 平仮名の学習	(初級)高橋裕 輔	講義通訳 平田スサナ
4 (上)	平成27年 9月 26 日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	9人	Ⅲ 消費活動を行う 05 物品購入・サービスを 利用する	☆ 対面サービスで購入する 買い物 動詞の変化	(上級)彌城 節子	
4 (中)	平成27年 9月 26 日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	14人	Ⅶ 人とかかわる 14 他者との関係を円滑 にする	☆日本の一般的なマナー等につい て 相手に自分の予定を伝える 漢字	(中級)大崎 晋	
4 (初)	平成27年 9月 26 日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	20人	Ⅶ 人とかかわる 14 他者との関係を円滑 にする 31 人と付き合う	☆わからない時、疑問に思った時信 頼できる相手に質問をする 「ここ、そこ、あそこ」の学習 片仮名の学習	(初級)高橋裕 輔	講義通訳 平田スサナ
5 (上)	平成27年10月 3 日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	6人	Ⅶ 人とかかわる 14 他者との関係を円滑 にする 31 人と付き合う	☆ 私的な場面で自己紹介をする スピーチ(1名) 「夢」について会話と作文 語彙	(上級)高橋裕 輔	
5 (中)	平成27年10月 3 日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	17人	Ⅷ 社会の一員となる 15 地域・社会のルール・ マナーを守る (33)住民としての手続を	☆ 定型的表現の漢字を理解する 金融機関・役所で使う言葉を理解する 住所・氏名・年齢・職業・電話番号・	(中級)大崎 晋	
5 (初)	平成27年10月 3 日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	28人	Ⅲ 消費活動を行う 05 物品購入・サービスを 利用する	☆ 値段を知る 「～は、いくらですか」の練習 数字、片仮名	(初級)増田英 幸	講義通訳 平田スサナ
6 (上)	平成27年10月 10 日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	7人	Ⅶ 人とかかわる 14 他者との関係を円滑 にする 31 人と付き合う	☆仕事上の公的な自己紹介をする スピーチ(1名) 「仕事」について会話と作文 語彙	(上級)高橋裕 輔	

6 (中)	平成27年10月10日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	19人	Ⅶ 人とかかわる 14 他者との関係を円滑にする	☆私的な場面で自己紹介する 授受表現、漢字の復習	(中級)大崎 晋	
6 (初)	平成27年10月10日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	26人	Ⅶ 人とかかわる 14 他者との関係を円滑にする 31 人と付き合う	☆わからない時、疑問に思った時信頼できる相手に質問する 「なんじですか」の練習	時 幸	講義通訳 平田スサナ
7 (上)	平成27年10月17日(土) 15:30~17:30	2	緋の里会館	7人	Ⅶ 人とかかわる 14 他者との関係を円滑にする 31 人と付き合う	☆私的な場面で自己紹介をする スピーチ(1名) 「自分の名前」について会話と作文 語彙	(上級)高橋裕 輔	講義通訳 平田スサナ
7 (中)	平成27年10月17日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	15人	Ⅷ 社会の一員となる 16 地域社会に参加する (35)地域社会に参加する	☆行事に参加する 目的を告げて話す(V+ように/ために)	(中級)大崎 晋	
7 (初)	平成27年10月17日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	23人	Ⅶ 人とかかわる 14 他者との関係を円滑にする 31 人と付き合う	☆日本の一般的なマナーを理解し、 マナーにのっとって行動する 「～を食べます」の学習 動詞文(主にヲ格)	(初級)高橋裕 輔	講義通訳 平田スサナ
8 (上)	平成27年10月24日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	7人	Ⅶ 人とかかわる 14 他者との関係を円滑にする 31 人と付き合う	☆私的な場面で自己紹介をする スピーチ(1名) 「季節の出来事」について会話と作文	(上級)高橋裕 輔	講義通訳 平田スサナ
8 (中)	平成27年10月24日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	15人	Ⅶ 人とかかわる 14 他者との関係を円滑にする	☆日常のあいさつをする 習慣について話す(要にしている等) 漢字の復習	(中級)大崎 晋	
8 (初)	平成27年10月24日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	22人	Ⅶ 人とかかわる 14 他者との関係を円滑にする 31 人と付き合う	☆日本の一般的なマナーを理解し、 マナーにのっとって行動する 「～で～を買いました」の学習 動詞文(過去)	(初級)高橋裕 輔	講義通訳 平田スサナ
9 (上)	平成27年11月7日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	5人	Ⅶ 人とかかわる 14 他者との関係を円滑にする 31 人と付き合う	☆適切なあいさつをする 日本の一般的なマナーを理解し マナーにのっとって行動する 異文化理解・指の運動	(上級)彌城 節子	
9 (中)	平成27年11月7日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	13人	Ⅶ 人とかかわる 14 他者との関係を円滑にする 31 人と付き合う	☆TPOに合った適切な挨拶形式を 理解する 家庭や職場での会話(受身・使役) 漢字(数字)	(中級)大崎 晋	
9 (初)	平成27年11月7日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	20人	Ⅶ 人とかかわる 14 他者との関係を円滑にする 31 人と付き合う	☆日本の一般的なマナーを理解し、 マナーにのっとって行動する 「～にあります」の学習 存在文(位置詞1)	(初級)高橋裕 輔	講義通訳 平田スサナ
10 (上)	平成27年11月14日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	5人	Ⅶ 人とかかわる 14 他者との関係を円滑にする 31 人と付き合う	☆適切なあいさつをする 日本の一般的なマナーを理解し マナーにのっとって行動する 異文化理解・招き猫	(上級)彌城 節子	
10 (中)	平成27年11月14日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	13人	I 健康・安全に暮らす 01 健康を保つ 01 医療機関で治療を受ける	☆各種手続の種類や内容について 理解する 病院で使われる言葉(薬・表現) 漢字(形容詞)	(中級)大崎 晋	
10 (初)	平成27年11月14日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	14人	Ⅶ 人とかかわる 14 他者との関係を円滑にする 31 人と付き合う	☆日本の一般的なマナーを理解し、 マナーにのっとって行動する 「～は、きれいなところです」の学習 形容詞文1(位置詞2)	(初級)高橋裕 輔	講義通訳 平田スサナ
11 (上)	平成27年11月21日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	6人	Ⅲ 消費活動を行う 05 物品購入・サービスを利用する	☆新聞記事を読む 言葉を覚える 時宜に合った会話	(上級)彌城 節子	
11 (中)	平成27年11月21日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	13人	I 健康・安全に暮らす 01 健康を保つ 02 薬を利用する	☆病状を説明し、薬を求める 医療機関で病状を伝える(～んで す、擬態語) 漢字(形容詞)復習	(中級)大崎 晋	
11 (初)	平成27年11月21日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	18人	Ⅶ 人とかかわる 14 他者との関係を円滑にする 31 人と付き合う	☆日本の一般的なマナーを理解し、 マナーにのっとって行動する 「～は、きれいなところです」の学習 形容詞文2	(初級)高橋裕 輔	講義通訳 平田スサナ
12 (上)	平成27年11月28日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	8人	Ⅸ 自身を豊かにする 20 余暇を楽しむ (44)余暇を楽しむ	☆計画を立てる 外出や余暇の計画を立てる 故郷への旅(帰省) 海外旅行:サンフランシスコの旅	(上級)彌城 節子	
12 (中)	平成27年11月28日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	12人	Ⅶ 人とかかわる 14 他者との関係を円滑にする 31 人と付き合う	☆TPOに合った適切な挨拶形式を 理解する 敬語で話す(お～になる等) 漢字(数字)	(中級)大崎 晋	
12 (初)	平成27年11月28日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	18人	Ⅶ 人とかかわる 14 他者との関係を円滑にする 31 人と付き合う	☆日本の一般的なマナーを理解し、 マナーにのっとって行動する 「私は、～が欲しいです」、「私は、～ たいです」の学習の学習 要求文	(初級)高橋裕 輔	講義通訳 平田スサナ
13 (上)	平成27年12月5日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	7人	Ⅶ 人とかかわる 14 他者との関係を円滑にする	☆あいさつをする 葬儀・法事のマナー I	(上級)彌城 節子	

13 (中)	平成27年12月5日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	11人	Ⅶ 人とかかわる 14 他者との関係を円滑にする 31 人と付き合う	☆日常のあいさつをする 時の表現を使って予定を話す(時、ころ等) 漢字(時)	(中級)大崎晋	
13 (初)	平成27年12月5日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	19人	Ⅷ 社会の一員となる 15 地域・社会のルール・マナーを守る	☆窓口で尋ねる 「～てください」の学習 動詞て形	(初級)高橋裕輔	講義通訳 平田スサナ
14 (上)	平成27年12月12日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	3人	Ⅶ 人とかかわる 14 他者との関係を円滑にする 31 人と付き合う	☆あいさつをする 葬儀・法事のマナーⅡ	(上級)彌城節子	
14 (中)	平成27年12月12日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	12人	Ⅶ 人とかかわる 14 他者との関係を円滑にする 31 人と付き合う	☆TPOに合った適切な挨拶形式を理解する 受け身、可能、尊敬の表現を使い分け、正確に話す 漢字(助詞)	(中級)大崎晋	
14 (初)	平成27年12月12日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	17人	I 健康・安全に暮らす 02 安全を守る (04) 事故に備え、対応す	☆火事に対応する 119番を利用する 「～で～がもえています」の学習	(初級)高橋裕輔	講義通訳 平田スサナ
15 (上)	平成27年12月19日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	5人	Ⅸ 自身を豊かにする 20 余暇を楽しむ (44) 余暇を楽しむ	☆計画を立てる 外出や余暇の計画を立てる 故郷への旅(帰省) 国内旅行:清水の舞台	(上級)彌城節子	
15 (中)	平成27年12月19日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	6人	Ⅶ 人とかかわる 14 他者との関係を円滑にする 31 人と付き合う	☆日常のあいさつをする 擬態語を使ってひょうげんをゆたかにする 漢字(助詞)復習	(中級)大崎晋	
15 (初)	平成27年12月19日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	13人	Ⅷ 社会の一員となる 15 地域・社会のルール・マナーを守る	☆窓口で尋ねる 「どこで～ことができますか」の学習 辞書形	(初級)高橋裕輔	講義通訳 平田スサナ
16 (上)	平成28年1月16日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	4人	Ⅸ 自身を豊かにする 20 余暇を楽しむ (44) 余暇を楽しむ	☆情報を収集する週末のサッカー 助詞の使い方	(上級)彌城節子	
16 (中)	平成28年1月16日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	9人	Ⅶ 人とかかわる 14 他者との関係を円滑にする 31 人と付き合う	☆わからない時・疑問に思った時に 信頼できる相手に質問する 「～たら」を使い未来の予定を決める	(中級)大崎晋	
16 (初)	平成28年1月16日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	15人	Ⅷ 社会の一員となる 15 地域・社会のルール・マナーを守る (34) 住民としてのマナー	☆ゴミ出しについて理解する 「ここに、ゴミをすてないでください」 (否定文)の学習 公共マナーの理解	(初級)高橋裕輔	講義通訳 平田スサナ
17 (上)	平成28年1月30日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	4人	I 健康・安全に暮らす 01 健康を保つ 04 病気への対処法・生	☆ 衛生管理をする 私の健康法 助詞の使い方	(上級)彌城節子	
17 (中)	平成28年1月30日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	8人	Ⅶ 人とかかわる 14 他者との関係を円滑にする 31 人と付き合う	☆日常のあいさつをする 自動詞・他動詞を使って、言いたいことを正確に伝える 漢字(動詞)復習	(中級)大崎晋	
17 (初)	平成28年1月30日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	9人	Ⅷ 社会の一員となる 15 地域・社会のルール・マナーを守る (35) 地域社会に参加する	☆行事に参加する 「草津にいったことがあります」(過去形)の学習 経験談と質問	(初級)高橋裕輔	講義通訳 平田スサナ
18 (上)	平成28年2月13日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	4人	I 健康・安全に暮らす 02 安全を守る 04 事故に備え、対応す	☆ 事故を回避する 自転車事故に会う	(上級)彌城節子	
18 (中)	平成28年2月13日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	8人	Ⅶ 人とかかわる 14 他者との関係を円滑にする 31 人と付き合う	☆日本の一般的なマナー等について 苦情を言う、謝る(「～手いただけませんか。」等)	(中級)大崎晋	
18 (初)	平成28年2月13日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	11人	Ⅶ 人とかかわる 14 他者との関係を円滑にする 31 人と付き合う	☆相手に合わせた挨拶をする 友達会話、相手に合わせた会話の学習 会話のスタイル	(初級)高橋裕輔	講義通訳 平田スサナ
19 (上)	平成28年2月20日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	7人	I 健康・安全に暮らす 02 安全を守る 05 災害に備え、対応す	☆ 火災発生時に適切に行動する	(上級)彌城節子	
19 (中)	平成28年2月20日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	7人	I 健康・安全に暮らす 02 安全を守る 05 災害に備え、対応す	☆避難場所・方法を理解する・人に聞く 災害時(地震・火事等)対応と避難	(中級)大崎晋	
19 (初)	平成28年2月20日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	17人	Ⅶ 人とかかわる 14 他者との関係を円滑にする 31 人と付き合う	☆日常会話の中での仮定の話を理解する 「もし、地震が起きたら、～」の学習 会話の中での質問	(初級)高橋裕輔	講義通訳 平田スサナ
20 (上)	平成28年2月27日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	8人	Ⅶ 人とかかわる Ⅲ 消費活動を行う Ⅸ 自身を豊かにする	☆ まとめ 今季を振り返って さよならパーティー	(上級)彌城節子	
20 (中)	平成28年2月27日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	10人	Ⅶ 人とかかわる 14 他者との関係を円滑にする 31 人と付き合う	☆時宜に合った挨拶を学んで実行する 相手や状況に合わせた会話の仕方 実践練習	(中級)大崎晋	

20 (初)	平成28年 2月27日(土) 18:30~20:30	2	緋の里会館	18人	VII 人とかかわる 14 他者との関係を円滑にする 31 人と付き合う	☆時宜に合った挨拶を学んで実行する 相手や状況に合わせた会話の仕方 実践練習	(初級)高橋裕 輔	講義通訳 平田スサナ
-----------	-------------------------------	---	-------	-----	--	--	--------------	---------------

20 120

(8) 特徴的な活動風景(2~3回分)

取組事例①

【第9回 2015年11月7日】

身近な人とのかかわりを待つために適切なあいさつをするというテーマでの学習。

日本の一般的なマナーを理解しマナーにのっとって行動する(どのような時にどのような挨拶を行うのか、実際2人ペアになりみんなの前で対話を行いみんなで検討を行う。

異文化理解・指の運動



取組事例②

【第14回 2015年12月12日】

地域で生活するうえで緊急の事故、事件などに対応する力を育てる。

☆火事に対応する →実際に伝をしたときにどのようなことをどのような表現で伝えるとよいのかを学ぶ。それぞれにロールプレーをしてもらい教師からコメント、修正を入れる。

119番を利用する⇒ 110番と119番の違いの説明。消火器の説明

文法:「～で～がもえています」の学習



(9) 目標の達成状況・成果

今回は初級、中級、上級に分けて授業構成を行った。専門の教師が指導を行い、自分たちの地域の比較的近くで値段も安い授業を受けることができるということで多くの参加があった。しかし町田と同じようにここでも決まった曜日の決まった時間に出席することが困難な人たちのグループがあった。仕事のシフトの変更があるためである。地域で気軽に専門家の日本語教育を受けることができるように数多くのにほんご教育のコースの開設が早急に望まれる。

(10) 今後の改善点について

群馬県伊勢崎市には他の団体も日本語教育のコースを開設している。しかし当団体に人数が多く集まる理由の一つが平田スサナさんの存在が大きいと考える。自らがペルー出身でありながら地域でのコーディネータにまで成長したのは文化庁の養成講座のおかげによるところが大きい。そもそも当講座をスペイン語のコミュニティ新聞のお知らせで知った父親が娘に出席を勧めそれが縁でAJAPEとのかかわりが始まった。地域の人から頼りにされ自分でコーディネータと出来るとは本当に素晴らしいと感じる。しかしその一人がいなくなるによりその活動の継続ができなくなるということもあり得る。次の世代を育てる必要性に迫られており今年一年間かけて候補者にアプローチしてみたがとても困難である。能力+ゆとりがなければコミュニティの人のために活動するということは非常に困難である。

6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

(1) 講座名称

AJAPEバイリンガル日本語教師養成講座

(2) 目的・目標

①、スペイン語圏出身者に日本語を教えている或は教えることを望んでいる人を対象に指導力の向上を目指す

(3) 対象者

スペイン語圏出身者に日本語を教えている人 or 教えることを望んでいる人

(4) 使用した教材・リソース

・教師手作りのハンドアウト、絵本(日本語、スペイン語)

(5) 受講者の総数

26人

【出身・国籍別内訳】

中国	1人	インドネシア	人	※他の国籍の場合は以下に国籍と人数を記載してください。
韓国	人	タイ	人	・アルゼンチン 1人
ブラジル	人	ペルー	7人	・
ベトナム	人	フィリピン	人	・
ネパール	人	日本	17人	

(6) 開催時間数(回数) 36 時間

(全 8 回)

(7) 養成・研修の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修テーマ	授業概要	講師名	補助者名
1	平成27年 8月 8日(土) 9:30~19:00	6	町田市民フォーラム	21人	日本語の評価の学習: 2言語の観点より	・子どもの言語評価 ・複数の言葉を使用する子ども ・3つの評価法OBC,DRA,DLA 共通理念	中島 和子	講義補助者:鈴木庸子 講義通訳者:小林キミ
2	平成27年10月11日(日) 12:30~18:30	5	町田市民フォーラム	3人	日本語の評価の学習: 2言語の観点より⇒ スペイン語使用して概要説明	・保護者が家庭ですべきこと ・地域にできること ALPを育てるためには	高橋 悦子	単純労務者:小林キミ
3	平成27年10月12日(月) 8:30~19:00	7	町田市民フォーラム	11人	日本語の評価の学習: 2言語の観点より	・評価法の学習 ・スペイン語での評価の方法 ・スペイン語の実際	高橋 悦子 樋口万喜子	講義補助者:鈴木庸子 講義通訳者:小林キミ 単純労務者:小林キミ
4	平成27年12月 5日(土) 16:30~19:30	2	町田市民フォーラム	3人	日本語の評価の学習: 2言語の観点より	・評価法の学習 ・スペイン語での評価の方法 ・スペイン語の実際	高橋 悦子	単純労務者:小林キミ
5	平成27年12月19日(土) 16:30~19:30	2	町田市民フォーラム	3人	日本語の評価の学習: 2言語の観点より	・評価法の学習 ・スペイン語での評価の方法 ・スペイン語の実際	高橋 悦子	単純労務者:小林キミ
6	平成27年12月26日(土) 9:30~17:30	6	町田市民フォーラム	23人	日本語の評価の学習: 2言語の観点より	・子どもの日本語の評価の概要と理論について 実践を知る、練習、実際の評価	櫻井 千恵	講義通訳者:小林キミ
7	平成27年12月27日(日) 9:00~17:30	6	町田市民フォーラム	21人	日本語の評価の学習: 2言語の観点より	・実際の方法と評価に仕方に関する学習(各自がとった音声をみんなで聞いて評価、同じ採点結果への話し合い、ディスカッション)	櫻井 千恵	講義補助者:鈴木庸子 講義通訳者:小林キミ
8	平成28年 1月 9日(土) 16:30~19:30	2	町田市民フォーラム	3人	日本語の評価の学習: 2言語の観点より	・26, 27日に行った内容アイ確認を スペイン語を使用して	高橋 悦子	単純労務者:小林キミ
8		36						

(8) 特徴的な活動風景(2~3回分)

取組事例①

【第1回 2015年8月8日】

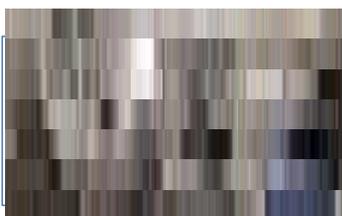
- ・講義「子どもの言語の評価」複数のことばを使って育つ子どもの場合の評価法：OBC,DRA,DLAについての概要。それぞれの特徴と目的に拠る使用方法への考慮。共通に置かれている理念の確認。言語能力のとらえ方について
- ・2言語の内部構造。母語、継承語との関係について。それぞれの立場でできること。保護者、教師教員、地域の人たち
- ・実際の音声による評価の考え方、異なった人が行っても同じような基準でとらえるためには。



取組事例②

【第3回 2015年10月12日】

- 実際に子どもたち3名に研修会場に来てもらい午前中はスペイン語、午後は日本語での言語評価テストを行いそれぞれが採点をして意見の交換を行う。自発的に手を挙げて人が実際に会話をしたり、本読みをさせて実施しているのを見る機会はとても貴重であった。前後には評価についての共通認識を持つための補講、ディスカッションを行った。
- ・持ち寄り課題の意見交換、小学校3年男子、小学校6年女子、小学校1年生男子で実施。
  - ・実際に多くの評価を行った経験のある樋口先生による説明



(9) 目標の達成状況・成果

子どもの言語状況のチェックは最近さまざまな形で行われている。しかし実際に実施しているものを見たり、自分が出している評価に自信が持てないケースが多く前向きに進めていくことは困難が多い。この研修により簡単にできないこと、評価が個人によりかなり異なること、前もって研修を受けていさえも同じ質の評価を出すことは困難であることが学べたのは大きかった。又子どもの言語評価は表面に見えている第2言語だけではなくその前にある第一言語も同時に見るのがいかに大切であるかということ研修を通して学ぶことができた。

- ・別途別紙でアンケート結果添付

(10) 今後の改善点について

子どもの言語状況のチェックは益々いろいろな方法でチェックしていく必要があることがより理解できた。この研修により評価というもの簡単にできないこと、評価が個人によりかなり異なること、などがわかり時間をかけて研修を受けていさえも同じ質の評価を出すことは困難であることが学べた。日本人の先生方が日本語だけを見て、親と母語ができていないから心配ないと思うことは危険なことである。双方の言語を足しても100にも満たない子どもたちも増えてきており身近な問題として今後さらに増えていくと予想される。ていねいな日本語教育、継承言語教育の充実が求められる。

## 7. 日本語教育のための学習教材の作成

### (1) 教材名称

AJAPE日本語学習教材(西和対応)

### (2) 対象

・国内に在住するスペイン語圏出身者

### (3) 目的・目標

- ・①、AJAPE群馬日本語教室で使用するための教材
- ・②、必要最小限の日本語を理解する
- ・③、ホームページへ千件以上のアクセス

### (4) 構成 (総ページ数:34.5 ページ)

- ・上級: I 健康・安全に暮らす、III 消費活動を行う、VII: 人と関わる、IX: 自身を豊かにする(20.5ページ)
- ・中級: I 健康・安全に暮らす、VII: 人と関わる、IX: 自身を豊かにする(3ページ)
- ・初級: I 健康・安全に暮らす、III 消費活動を行う、VII: 人と関わる、IX: 自身を豊かにする(11ページ)

### (5) 教材の具体的な活用方法

・日本語・スペイン語対応の冊子にしてスペイン語コミュニティーの希望者な無料で配布する・AJAPEホームページに掲載し、無料コピー撮りを可能とする

### (6) 具体的な活用例

- ・配布済みの西和辞典と共に身近に置き、疑問や分からないことに出会ったらその場で調べる習慣をつける
- ・スペイン語コミュニティー内での会話は、お互いにめんどくさがないで冊子を片手に日本語で話す
- ・官公庁や病院へ出かける際は「なにをするのか、何をしてほしいのか」等よく質問内容を整理して、下準備をしてから出かける習慣を付ける

## 8. 事業に対する評価について

### (1) 事業の目的・目標

外国に籍を置く労働者並びにその家族の来日が増えてきている。彼らが日本国内に居住し、様々な情報を得ながら生活をしていくための日本語能力が不足していることが顕在化してきている。当協会では「それぞれの家庭において健全に子育てしながら税金を払うことができる人たちに育ってくれる」ことを目標に支援活動をしてきている。そのために、働く保護者、学んでいる若者、育っていく子どもたちの日本語能力を更に向き上げて、日本人と平穏に共存することがようにする。

### (2) 目的・目標の達成状況・事業の成果

専門家による日本語教育を行いその対応を母語で行うことに関しては信用も蓄積することができ日本語、教育に関しては当団体に問い合わせが増加している。団体の事務所のある東京、神奈川のみならず群馬県伊勢崎市での活動も定着しており毎年日本語教室開催の問い合わせがある。群馬では埼玉県より1時間半かけて休まず皆出席した人もいた。地域の日本語教室は様々な団体が開催しているがスペイン語圏にこだわって対応していることの良さがあると確信している。講座最後のアンケートにはびっちりスペイン語で自分たちの思いが記述されている。教師養成講座ではスペイン語のみならず継承言語を持ちながら日本語教育を指導している人たち(中国語、ポルトガル語、ドイツ語等)の参加もあった。

### (3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

今年はポートフォリオを各個人に記述してもらい自分が学習した項目の塗りつぶしを重ねていった。せっかくいいものがあるがこの形式で学習できる場所がまだまだ少ない。いつまでたっても簡単なひらがな、カタカナの部分のみの繰り返しで面白くない、興味がわかないという声が多くある。又就労している人には学習参加が困難な時間帯であったり、三交代勤務の場合には決まった曜日の決まった時間帯に継続的に学習することはとても困難な事情がある。それらの人に対しても学習意欲があれば手軽に日本語が学習できる場が増加することを切に願う。そのためにはどの教室に行っても未学習のリストがあり自分の好きな項目を順番に網羅しながら学習を進めていける方式はとても大切であると思う。外国の人が手軽に自分の手元に置き文化庁が認めた団体が終了後印鑑を押して行ったらいいのではないかと考える。

### (4) 地域の関係者との連携による効果、成果等

・事業開始前、開始後アプローチを試みたが予算編成上の問題で参加の意欲はあるが実現にいたることはなかった。民間のノウハウをもっとい消せる方法がないのかと残念でたまらない。

### (5) 事業実施に当たったの周知・広報と、事業成果の地域への発信等について

・FACEBOOKやLIONEからのお知らせはかなり多くの人に情報が届くことが分かった。今後も有効に利用する価値があると考える。地域の人たち(児童相談所や警察)、学校関係者も当団体がスペイン語圏に対してのノウハウを持っていることが分かり問い合わせが多かった。個人が知っているのでつながるのではなく日本語教室MAPを文化庁せ掲載して全国に発信していただけるとよいと思う。

### (6) 改善点、今後の課題について

・行政と取り組むと一つのコミュニティにこだわってはいは公平さに欠け運用が困難になる。しかし今後の国の展開を見ていると行政との協力をなくし、自立していくか日本語のみを前面に出してどのような言語の人であっても日本語教育という共通項でくっついていかざるを得ない。特に日本語教育の上級者を見るともはやコミュニティの言語は絶対に必要ではなく日本語全ての直接法での接し方にシフトしなくてはならないであろう。今まで積み上げたものは残念ではあるが今後の展開としては多様な言語、コミュニティの人と共に進んでいくことになるであろう。